

令和4年9月30日
公益財団法人日本骨髄バンク

コーディネーター業務用のスマートフォンを紛失した事案について

1. 経過の概要と当法人の対応

令和4年9月21日夜、当法人コーディネーターが、収納したつもりの場所に業務用スマートフォンがないことが判明し、翌9月22日、所属地区事務局に紛失した可能性がある旨を報告した。

スマートフォン内には、ドナー関係の個人情報が含まれるメールが残されていた。

※収納前に電源をオフに設定したため、遠隔操作による初期化や位置情報の取得が不可。

その後も定期的に位置情報の取得を試みている。

※メール以外の情報については、クラウド管理していたため、直ちに機能停止の処理を行った。

また、現在、以下対象者の方々に電話で説明と謝罪を順次行っている。

令和3年8月～令和4年8月にコーディネーターに協力くださったドナー登録者のうち、

- ・メール文中にフルネームの記載があった方：2名
- ・メール文中に伏せ字の氏名（例：山○太○）があった方：27名

当該コーディネーターの自宅及び利用した交通機関など考え得る場所を捜索したが現時点で発見に至らず、引き続き捜索中である。

2. 本事案が生じた原因

スマートフォンの携行や保管など管理ルールが明確化されていなかった。また、メール利用時のルール遵守(※)が徹底されていなかった。

※ID番号以外のドナー情報を記載しないこと、不要になったメールは速やかに削除すること、等

3. 再発防止策

(1)すでに実施した対策

- ・全国の地区事務局職員および約160名のコーディネーターに対し、今回の事案を共有するとともに改めて個人情報取り扱いに関するルールを徹底するよう周知した。
- ・ドナー氏名の一部(伏せ字)等を記載した可能性があるケースでは、過去に遡りメールサーバー側から全てのメールを削除した。

(2)近日中に実施予定の対策

- ・全国の地区事務局におけるスマートフォンの利用状況の現状調査を行った上で、今回の事案の原因究明を行う。
- ・スマートフォンの管理ルールを作成し徹底する。
- ・コーディネーターに用いるツール等に関して順次より安全なシステムへ変更する。

(3)中長期的に実施する対策

- ・検証のための会議体の設置
- ・マニュアル等の改訂・整備

以上